

まちの話題



自分だけのタイムラインを作成

災害が起こりそうなときに自分や家族、生活を踏まえて、何をするのか整理した「マイタイムライン」作成講習会が、木野東会館で開かれました。マイタイムラインがあると行動のタイミングが分かるため、緊急時も余裕を持って避難することができます。講師はお天気キャスターの寺川奈津美さん、サポートは浦野浩さん。講習では町のハザードマップの見方や過去の台風被害の状況などを学んだ後、参加者それぞれのマイタイムラインを作成しました。



郵便局でメリークリスマス

音更郵便局で、家庭保育園ひだまりの0～2歳児の子どもたちとのクリスマスイベントが開催されました。子どもたちは1人ずつ雪や星のマグネットをマスコットキャラクターの「ぼすくま」から受け取り、ポストをクリスマス仕様に飾り付けました。最後にサンタさんから子どもたちへ「ぼすくま」のグッズをプレゼント。受け取った澤田泰志くん(1歳)はうれしそうに先生やお友だちにグッズを見せていました。



11/16

明るい社会を目指そう



文化センターで第69回社会を明るくする運動ふれあいコンサートが開催され、小・中学校のプラスバンドや吹奏楽部、音更バトントワラーズが熱演しました。推進委員代表の沼山満ぬまやまみつるさんは「反省は1人でもできるが、更生は1人ではできない。みんなで助け合う社会をつくりましょう。」とあいさつしました。

12/6

おいしいみそにな〜れ!



ふれあい交流館で、鈴蘭保育園の年中児童33人が自分たちで育てて収穫した大豆を使い、みそ作りに挑戦。大豆を細かくつぶす、塩とこうじを混ぜてから丸めるなど、どの作業も一生懸命取り組みました。子どもたちは、このみそが1年後に完成することを、期待に胸を膨らませていました。

11/11

SDGsを学びました



プロSPA6でまちづくりSDGsセミナーが開催されました。同日2回に分けられて行われた講演に約140人が参加。講師の水野雅弘さんが「SDGsを理解する〜今、なぜSDGsがまちづくりに求められているのか〜」をテーマに映像などを用いて解説。参加者はSDGsについての理解を深めることができました。

11/23

鈴蘭小学校は開校30周年を迎えました



鈴蘭小学校は令和元年4月10日に30周年を迎えました。式典では、児童会会長の須藤翼さん(6年生)が「大人になって、自分が鈴蘭小学校を訪れたときも子どもたちの笑顔があふれている学校でいてほしい。」とあいさつ。その後、全校児童で「ありがとうの花」を合唱し、30周年をお祝いしました。